

平成26年11月議会報告会（総務常任委員会）

【人口減少】

会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨
中山	人口	30年も前から人口減少するのが分かっていた。年齢構成を調べてみるべきである。これから産まれてくる人が大事であり、移住してくれる人をどう受け入れるのか。	この地域にいる子供の子育て環境を充実させていくことが大事である。産業振興と雇用も重要である。IターンやJターンを進め、空き家を調査して安価で提供できるようにアイデアを練っていく。
中山	人口	鬼首地区に三菱地所が入ってきたとき、若い人に聞いた。教育と医療が大事。	意見として伺う。
中山	地域	議会で人口減少の中、利用率とか質問しているが中山平は保育所、学校がなくなる。心のよりどころとしてコミュニティセンター建設が大事である。議員にお願いしたい。	要望として伺う。
松山	人口	人口問題の今後の進め方は。	議会に人口問題対策調査特別委員会を立ち上げ取り組んでいる。先進地も参考にしながら議論していく。
松山	人口	空き家対策はどうなっているのか。廃屋と空き家を分けて両面から考えてはどうか。	空き家を求める人々への情報として調査は必要と思う。空き家は防犯・火災などへの対応も必要と考え、条例化も検討していく。
真山		人口減少の地域を考えて、増加するところはより多くすることなく、栗原地域のように分散するように考えてほしい。人口減少を食い止めるために地域への配慮が必要ではないか。	決して古川中心のものでない。比較的バランスをとっている。地域ががんばるために必要な機能の議論をしている。
富永	人口	結婚していない人が多くなっているが、取り組みは。	人口問題について、先進地の常陸太田市から講師を招いて研修を行った。即座に成果を出すことは難しいが、一つずつ着実に取り組んでいく必要がある。
富永		結婚相談員はいるのか。	大崎市の30～40代の24%が未婚であり、この年代の婚活が必要である。結婚相談員制度は大崎市にはない。
福浦	人口	人口減少対策について、議会としての取り組みに期待する。	議会で人口減少問題対策調査特別委員会を設置し、調査及び対策を検討中である。さらに、先進地の茨城県常陸太田市より講師を招いて全議員を対象とした研修会を実施した。

【公共交通】

会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨
松山	地域	高齢者の足の確保について、バス運行計画を見直しして使いやすいバス運行にすべきである。	9月議会における答弁で年度内に見直しすることを確認した。ぜひ、利用しやすいよう改善させたい。
高倉	地域	自家用車がないと病院に行けない。過疎に近い地域なのでデマンド交通を考えてほしい。	旧古川市周辺部が一番遅れている。現在は乗車率が低い。新市民病院へのシャトルバス運行などで運行ルート変更に着手したばかりだ。デマンド交通は新たな課題だ。
田尻	地域	地域内公共交通の「くるくる号」について、利用方法に問題があるのでは。また、福祉タクシーの助成措置について教えてほしい。	田尻地域内公共交通「くるくる号」の運行手法は、全域予約型乗合タクシーとして田尻公共交通運営委員会で協議されている。また、福祉タクシー使用への助成制度には、障害者手帳を交付されていることなどの制限もあるので、窓口での確認をお願いする。
三本木	地域	職場などへの通勤に利用するための高速バス停利用者向け駐車場が狭いので、駐車場を確保してほしい。大変利用者が多く、三本木住民だけでなく、松山、古川、加美町、美里町などの人も利用し、30台の駐車場がすぐ満杯になる。	大崎市の26年度支所対応経費で、高速バス利用者駐車場の利用実態、今後の拡張について現地を調査、測量し、設計していただいた。早急に実現できるようにしたい。

川渡	地域	交通体系の見直しについて。古川地域へ現在5本運行しているが、市民病院への直接乗り入れがない。午前、午後それぞれ1本くらい乗り入れできないのか。	交通体系は全市的な問題である。平成26年度中に担当課で検討することとなっている。
志田	地域	飯川地区に市民バスを走らせてほしい。高齢化率が34%を超えており、日中は高齢者のみで社会参加するのに足がない。シャトルバスがあるが、ほなみ親水公園前が停留所だ。飯川まで伸ばせないか。また、予約型のデマンド交通を導入してほしい。	公共交通体系については、議会で大論議をした。シャトルバスは、台町、七日町等南のほうは走るが、北町、江合のほうは手つかず状態だ。市では平成26年度中に見直しをしようとしているので、時間がほしい。議会では利便性のある公共交通体系確立に向けて、附帯決議をあげている。

【放射能・防災関係】

会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨
中山		放射能最終処分場の問題は国の政策であるが、加美町、栗原市、大和町の3カ所の最終処分場について伺う。	現地の同意がなければ詳細調査はしないとしている。
中山		放射能問題(最終処分場)、岩堂沢ダムの貯水池は6割が鳴子に流れる。必ず調査をすればどこかにつくられる。加美町長は反対をしている。	議会の総意としては、現地の人の同意がなければ詳細調査はしない旨の意見書を可決している。
田尻	地域	放射性廃棄物の問題で、大崎市は具体的に動いていない。議会でも他人事として捉え、市民の意見も聴かず、取り組みもされていないようなので投票率が低いのではないか。この問題についてどのような行動をしているのか、また何か制約などがあるのか。	放射性廃棄物の議会としての対応は、総務常任委員会でも加美町の指定廃棄物最終処分場建設候補地の現地視察を実施している。また、6月27日には、詳細調査については当該自治体及び地域住民の理解を得た上で着手することが大前提であり、その前提のないまま、3候補地が国有地であることをもって調査を強行し、事態を悪化させることがないよう、強く要望する旨の「指定廃棄物最終処分場建設についての意見書」も6月27日に全会一致で可決している。なお、加美町のような対応は、議会として規制しておらず、議員個々の対応としている。
三本木		市内各所の学校や集会所、防災施設を点検し、有事の時に即対応できるようにしておくことが大切だと思うが、どうか。	大崎市の防災計画の中で、避難所については各地域の避難所を決めて、備蓄食糧なども備えておくことにしているが、ご意見を受け、点検をする体制やサイクルを具現化したいと思う。
三本木	地域	北町コミュニティセンターは耐震診断をしていない。築36年になるが解体して新しくしなければならぬかと思うが、どうか。	この地域は、急激な人口増加地域で区の総会などでも住民が入りきれずに書面決議による協力を検討する状態にある。新築も含めさまざまな角度からの対応が必要であり、検討する。
三本木		この地区は震災だけでなく、水害が大変心配される。区長会などでも確認しているが、なかなか明確な回答が来ない。何とかしてほしい。	市内各所にデジタル防災無線の屋外拡声機等を設置し、災害情報を早期に伝えるとともに、さらに各行政区長及び自主防災組織班長、副班長、消防団部長以上の幹部には、携帯型受信機を配付し、情報の速やかな伝達に努め、減災に向けた取り組みを強化することになっている。どんな危険があるのか、その対策はどうなっているのか、お知らせできるようにしたい。
鹿島台	地域	指定廃棄物処分場建設問題について、鹿島台地域も他人事ではない。市議会の動きが分からないが、加美町の立場になって考えてほしい。	総務常任委員会では、10月20日に建設候補地である加美町の田代岳の現地視察を実施した。分水嶺もあり、江合川にも約6割が流れていくとこのことで、今後も調査を継続していく。また、6月27日には、詳細調査については当該自治体及び地域住民の理解を得た上で着手することが大前提であり、事態を悪化させることがないよう、3候補地が国有地であることをもって、その前提のないまま調査を強行しないよう強く要望する旨の「指定廃棄物最終処分場建設についての意見書」も全会一致で可決している。

鹿島台	地域	大崎市デジタル防災行政無線整備事業に順次、地域毎に取り組んでいるようだが、鹿島台地域での難聴対策や整備内容は大丈夫なのか。	現在、アナログ式では5ヶ所の屋外拡声子局と全戸に戸別受信機を配備しています。平成29年のデジタル化移行に伴い、当初の計画では屋外拡声子局の増設と一部戸別受信機配備を予定していたが、その後、契約を変更し、従来通りの配備体制でデジタル化する事になった。戸別受信機を全戸配備するので、難聴対策や整備内容は問題ないと考えている。
志田		10月20日の指定廃棄物最終処分場の現地調査はどのような調査だったのか。建設構想図は住民にはわからない。大崎市民は感心が薄いと言われている。市民憲章でも市長挨拶でも安心・安全をうたっているのに、積極果敢に住民を守ってほしい。	加美町の田代岳に現地調査に行ったが、風が強いところで、厳しい形状であった。水源地であり、分水嶺で降った雨の6割は岩堂沢から江合川、鳴瀬川に流入する。政府は住民の同意なしには調査しないと言っている。大崎市議会では、全会一致で国へ意見書を提出した。大崎地域1市4町の議会、さらに大崎地域広域行政事務組合議会でも意見書を出している。米の買い取りの引き合いがないという風評被害が既に発生している。
宮沢	地域	広域行政事務組合が設置している可燃ゴミの焼却場では、職員が防塵マスクを常に装着するほど粉じんや悪臭が大変だ。ゴミ処理施設は広域の事業であるが、立地は大崎市の住民に関わる問題であり、地域課題としての整理が難しい。地元説明会に議員が出席し、問題の把握と理解に努めてほしい。	議会としては、議会選出の広域行政事務組合議員5名が広域議会に出席している。確かに、議会内で広域事業の質疑・質問を通しての議論を深めにくい状況であるが、地元説明会には広域議員も是非出席したいと考えています。また、桜ノ目地区への熱回収施設整備については、現在、生活環境影響調査を実施しており、約50%程の進捗率で、平成28年～31年までの工期予定で進めている。
宮沢	地域	空き家は火事なども心配であり、早急な対策や取り組みをお願いしたい。	空き家対策は、権利関係もあり、難しい状況である。費用の問題もあるので、現状によっては持ち主を調査し対応するよう求めたいと考える。
宮沢	地域	大崎市デジタル防災行政無線整備事業における屋外拡声子局の有効性に疑問を感じている。有事の際に、風向きや天候の影響を受けずに聞こえるものなのか。	市内での今後の整備計画は、従来のアナログ式から取り組んできた一部地域・地区を除き、屋外拡声子局による広報が主となる。事業者選定ではプロポーザル方式を実施し、特に屋外拡声子局の難聴世帯対策や、水害を想定した屋内での災害情報取得などの補完システム対策を重要視している。
福浦	地域	防災体制について、鹿島台地区では防災情報を戸別受信機での対応で取り組むとのことだが。	古川地区は同報系無線（屋外スピーカー設置）を計画している。
福浦	地域	近年住宅が増加し、消火栓の増設の要望が寄せられているが。	消防水利でもある農業用水路が止まる場合があるので、住宅増加地域は特に設置に向けた調査を担当課に行わせたい。
福浦		環境問題としてエコアクション等の承認に取り組むべきではないか。	意見として受けとめる。
福浦		災害時の避難所となっている小学校等における毛布等の備蓄品や、発電機等の定期的な点検など、いざという時にきちんと対応できる防災体制にしてほしい。	意見について検討する。
鹿島台	地域	内ノ浦地区は二線堤バイパスで分断された。市道内ノ浦2号線の説明会があったが、大雨が降ると避難準備段階でパニック状態になるので、水防倉庫の空き地を一時避難所に出来ないのか。	隣接する志田谷地地区には避難所があるが、内ノ浦地区にはまだない。二線堤バイパス工事での残地を整地して、一時的に避難できるように取り組みたいと考えています。また、区長・総合支所とも相談しながら対応し、所管委員会でも調査します。

【道路・交通】

会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨
----	-----	-------------	-------

中山	地域	山の神神社の道路の舗装をしてもらったが、奥の細道のところは砂利を敷いてもダメであった。現地を見てほしい。	現地を見て対応したい。
田尻	地域	田尻大崎線で、中ノ目交差点への信号機設置の進捗はどうか。また、安全標識などの設置も進められないか。	前回の議会報告会において、敷玉地区で出された信号機設置要望にも現地視察を実施し、北小牛田地区でも同様の要望があるものの実現が難しい現状です。市内でも多くの箇所の信号機設置要望がなされていますが、県内では1年に2箇所のペースでしか設置されていない。信号機設置までには大変時間がかかる実情があるが、公安委員会には申し入れもしており、所管委員会でも継続して調査していく。また、一時停止の看板は設置している。
鹿島台	地域	交通安全協会として「黄色い羽根」運動に取り組んでいる。市でも交通安全啓発のために、積極的な周知や啓発への支援をお願いしたい。	担当課や総合支所にも周知や啓発の充実を図るよう要請する。
富永	地域	上埜・鶴ヶ埜の交差点に早急に信号機を設置してほしい。	信号機は県で27年度に設置する予定。
東大崎	地域	大西団地前R47号坂本に向かう交差部信号機上り線に右折信号の設置を願う。毎朝大変な渋滞となっている。	担当課と対応策を検討する。
富永	地域	天神のところのカーブミラーが小さく、見える範囲が狭いので、大きいカーブミラーを取りつけてほしい。上埜・鶴ヶ埜の交差点の今冬期間の融雪についても対応してほしい。	カーブミラーと融雪の件については、市の担当者に取りつぐ。
宮沢	地域	宮沢地内の変則交差点は、朝夕の大型トラック通行で大変危険である。大型車進入禁止などの対応は出来ないか。	現状を所管委員会で調査する。
宮沢	地域	化女沼方向から国道4号に右折する際の時差信号への対応はできないか。また、優先道路と止まれ標識の対応もあわせてお願いしたい。	道路の危険性については、優先交差点も含め、今回の報告会で交通安全に関する要望をいくつか頂いている。所管委員会で調査し、対応する。
宮沢	地域	防犯灯設置への補助について、経年劣化した器具の更新時やLED化への補助も対応してほしい。	各地域での補助状況に差異がないかも含め、所管委員会で調査します。
福浦	地域	11月3日に古川地域（江合寿町）で交通事故が発生したことを機に、見通しが悪い箇所等への一時停止の標識や交通安全施設の設置を要望する。	議会として受けとめ、対応したい。
福浦	地域	安全の確認が不確実な箇所への交通安全対策が必要であるが。	交通規制の権限は公安委員会であるが、各要望箇所が全て完結されていないのが現状である。議会で調査し対応したい。

【学校統合】

会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨
中山	人口	鳴子小学校の統合について、数の多いところをもっていくよりも中心をもっていくこと大事だと思う。地域住民の声を聞いてほしい。	周辺の学校も児童数が減少している。小学校統合の目標はあるが、デリケートな問題なので地域の声を聞いて、対応を検討していく。
上野目	地域	小学校の統合が進んでいるが、地域課題や問題意識を持たない状態では、話し合う協働のまちづくりと言うけれども、それだけでは話し合えない。	一体的戦略とすべきか、個別戦略を取るか、基礎的な整理ができていない。議会がその誘導を果たすべきと考えている。

大貫	地域	大貫小学校の生徒数は減少傾向であるが、子どもは地域の宝でもあり最低でも4～5年は統合を引き延ばしてほしい。学校統合についての考えはどうか。	大貫小学校については、児童数の推移を見ながら、また地域における学校規模の差異等を踏まえながら、これからの地域における教育環境のあり方を検討している。また、市内では複式学級として、7校が取り組んでいる状況です。学校統合については、教育委員会で既に鹿島台・松山・岩出山地域の各小学校に出向いて説明会を開催し、父兄及び地区の方々とは話し合いを継続している現況です。なお、父兄からは子ども達の将来を考え、生徒数の多い学校との統合を望む声がありますが、議会では十分な話し合いと理解を踏まえるよう議論している。
松山	地域	松木団地に空き地がある。伊場野小学校の存続も危惧されるので、子育て世代に家を建て住んでいただくようにし、通える範囲を増やすなどして地域の活性化を望む。	小学校については地域の理解なしに廃校はない。意見は教育委員会にもつなぎ検討したい。
高倉	地域	高倉小学校の統廃合問題について、どのようなスケジュールで進めようとしているのか。統合した場合の学校跡地はどうするのか。区長会や地域の説明会等で知らせてほしい。	学校教育環境整備指針（H24年3月作成）で複式学級の解消を掲げている。10人未満となった中山小学校は鳴子小学校に統合された。前期計画では、ほかに下伊場野小学校と松山小学校の統合があげられている。しかし、これは地域の同意が得られた場合に進めるということである。後期計画として平成27年度から35年度までの9年間（3年毎に見直し）に行うとしている。高倉小学校は志田小、西古川小、東大崎小、高倉小と統合し、平成30年4月、古川西小学校とする計画である。複式学級解消が目標というのは、学校はある一定の人数の中で児童を切磋琢磨させるという方針の下に掲げられている。統合後の廃校建物等の利活用は計画には示されていない。
高倉	地域	学校の統合問題に感心がある。野球チームも単独校では結成できず、高倉小と東大崎小との合同チームとした。子供たちは試合に出たい。親はある程度の人数がほしいとの本音も話している。高倉太鼓は学校が統合されても残るのか。	学校がなくなっても、どのように子供とかかわっていくのか考えていかなければならない。
真山		教育における学校統廃合の問題について。	内容は確実性が持っていない。
志田	地域	小学校の統廃合について、現在の35人学級から40人学級にするという報道を耳にしたが、どうなのか。	市は学校教育環境整備指針（平成24年3月作成）を示し、複式学級の解消を眼目としている。今後、前期計画に掲げられている平成28年4月の下伊場野小学校と松山小学校を皮切りに、後期計画終了の平成35年度まで順次計画されている。志田小学校は高倉小と西古川小と統合し、平成30年4月、古川西小学校とする計画である。しかし、あくまでも地域の同意がなければ進めないとしている。複式学級が眼目というのは、学校はある一定の人数の中で児童を切磋琢磨させるという方針の下に示されている。1学級の人数については、財務省が35人学級では余り効果がないので40人学級に戻そうと主張しているのに対し、文部科学省では教育的観点から35人学級は効果があると主張しているもので、まだ折り合いはついていない。統廃合とは直接関係はない。
志田	地域	志田小学校がなくなったら環境がガラリと変わってしまう。地区公民館の場所も変わる心配もある。統合はエリア全体を考えて行ってほしい。	計画に掲げられたとおりの統廃合は現実的には難しいであろう。下伊場野小学校では地域と保護者と本音で話し合いを始めようとしている。結論を出すまでのプロセスが大切である。

志田	地域	穂波地区の子供の数が増えているので、学区の再編をすれば統廃合をしなくても大丈夫という考え方もできるのではないかな。	どこの地域でも学校がなくなったら地域はどうなるのか心配だという声があがっている。子供の教育を第一に考えて進めるよう求めていく。
----	----	---	---

【教育委員会関係】

会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨
大貫	地域	市内に社会教育バスが4台あるものの、バスの予約が取れないために社会教育活動に支障をきたしている。また、バスの利用条件が制限（時間・距離）されているので、何とか改善はできないかな。	利用条件の緩和を含め、所管委員会でも取り組んでいく。
東大崎	地域	これから冬期間に入るが、横走線の防雪柵の設置やスクールバス対応の計画はどう進んでいるのかな。	台所線防雪柵については、平成26年度に調査測量をし、次年度以降で設置の計画である。スクールバスは今冬より運行する。
鹿島台	地域	幼児教育の職員体制では、正職員ではなく非常勤職員の比率が高いと聞く。地域の宝である子供達をしっかりと教育していくために、また質を高めるためにも安定した正規職員割合を多くすべきではないかな。	現在、本市の職員体制は正職員約1,000人、非常勤職員約1,000人で、ほぼ50%ずつの割合となっている。幼保の職員体制では、約75%が非常勤職員であり、できるだけ正職員割合を増やし、非常勤職員の待遇改善も提言していきたいと考えている。
塚目		不登校、いじめが多発していると聞く。議会でもこの問題を取り上げて改善を求め、不登校やいじめのない大崎市を実現してほしい。	9月議会において、いじめ問題対策連絡協議会等条例が制定された。不登校やいじめの解消に向け、一層取り組んでいきたい。
塚目		不登校やいじめ問題について、家庭での教育を含め、対応すべきではないかな。	いじめ問題対策連絡協議会等条例を9月議会で議論し可決した。意見を踏まえ今後さらに対応していきたい。
志田		図書館建設の進捗はどうなっているのかな。加美町中新田の図書館を利用しているがすばらしい。県立図書館のような広さがあるのかな。	総務常任委員会で先進地の視察を行った。研修室を備えての図書館となる。32億円の予算で、平成26年度で実施設計、27年度で建設工事、28年度で完成の予定である。
福浦	地域	交通安全対策として、学校には危険マップがあるので、通学路を優先して整備すべきである。	文部科学省、国土交通省、警察庁が全国の危険箇所を調査した。教育委員会や学校が把握している危険箇所対策がどうなっているのかなを含めて調査し、対策を検討したい。PTAからも学校を通して要望を上げてほしい。
福浦		道交法改正で13歳未満児童等の自転車運転時のヘルメット着用が義務づけられたが、学校と教育委員会に問い合わせても家庭で対応すべきと言われるが、何とかならないかな。	ヘルメット着用への対応はすべきであり、着用実現に向けた方法の検討が必要である。また、着用したことにより、交通マナーが向上した事例がある。旧松山町では公費助成を行ってきた。
福浦	地域	千手寺地区周辺は交通が頻繁で、子供たちがボール遊びなどできないのが現状であるので、広場の確保を要望する。	千手寺周辺地区整備事業において、防災広場が計画されているので、公園的利用になる方向である。
福浦		小学校、中学校の学力向上と人格形成が急務ではないかな。	意見として受けとめる。

【パークゴルフ場等】

会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨
松山		三本木にある県有地の利用について、パークゴルフ場は実現できるのかな。	実現に向け取り組んでいる。先日も市長とともに県に陳情した。6コースを予定している。
三本木	地域	三本木県有地の有効活用のアイデアを市民に聞いてはどうか。	知事より、三本木の県誘致の有効活用は県政の重要課題の一つであるので、パークゴルフ場として一部活用するなどその活用方法を早期に示したいとの回答をいただいている。
塚目		パークゴルフ人口が急増している。市のパークゴルフ場建設計画案に合わせて、グラウンドゴルフ場も計画してほしい。	パークゴルフ場設置については県有地の有効活用として申し入れてある。11月13日に県で現地調査に入った。ご要望のグラウンドゴルフ場を含め、多目的グラウンドの整備を考え申し入れたい。

福浦		現在、大衡村や加美町などにパークゴルフ場があるが、健康増進策として大崎市内にも早期設置に向けた取り組みを促進してほしい。	三本木県有地の一部活用で大衡並の規模のパークゴルフ場を実現したいと県からも回答を得ているので、早い実現に努めたい。
----	--	--	---

【議会関係】

会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨
中山	議会	議会において市長提案のものにOKだけ出しているのか。議員提案について説明してほしい。	否決、修正案、附帯決議等の事例がある。
上野目	議会	投票率の低さは問題意識の欠如であり、危機意識のある地域は投票率は高い。	農村地区は農地・水保全活動など活力を感じるが、市中心部は地域意識が低くて困っている。都市部市民は地域より会社であり、職場の問題意識が中心で地域への関心が薄い。農村部は地域課題に関心が強いと思う。
松山	議会	投票率を上げる努力をしていない。多くの人が不満を持っている。	合併時から比べると議員数が3分の1になった。地域に議員が少なくなったのも要因と思われる。
松山	議会	投票所の減数は投票率の低下につながる。まち協との懇談の場を設けてほしい。	まち協との懇談の場について検討したい。
川渡	議会	市議選の低投票率は若者の無関心さが大きな要因となっている。若者が関心を持つ方策が必要である。	意見として伺う。
福浦		防犯灯設置等の地域課題への取り組みについて議員の地域担当制をとれないものか。	市内に335行政区があるが、議員定数が30人になり、地元出身の議員がいない地区がある。地域課題についてはまちづくり協議会とも連携し対応するように検討したい。

【地域・支所】

会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨
中山	地域	特色ある支所機能について、合併前は鳴子のよさがあったが、合併が悔やまれる。鳴子温泉地域について、特色ある支所機能とし、地域づくりをできないか。	意見として伺う。
真山		20万都市の総合計画は現在かなり格差があるが、計画は単なる根拠とするものなのか。	計画は十分時間と経費をかけて策定しているが、計画どおりに進んでいない状況である。
真山		↑(同上)	目標計画を立て計画をつくる。(総合計画時の型である。)そして、修正をしながら目標に向けて実施して行く。定期の議会で修正していく。
真山		体育館ができあがります。利用率良くを考えてほしいと言われる。古川の中心部のようにはいかないものである。	古川地域には体育館も集会所もない所もある。真山には公民館や集会所もあって良い所であると考え。

【その他】

会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨
大貫	地域	老人会に市から39,000円の補助金をいただいているが、食料費などに支出できないため、使い道に大変苦慮している。柔軟に使える補助金にしてほしいのだが。また、老人会の代表や会計・事務局になる人がおらず、11行政区中3行政区が解散している状況だが実態を知ってほしい。	補助金の性質上、用途は制限されている現状である。(補助金内訳は国1/3・県1/3・市1/3で、国・県の要綱でも食料費として使用できない。ただし、市単独で実施している自治体もある。)また、他補助金も含め食料費としての支出は市民理解が得難い側面もあるが、所管委員会でも補助金適正化を念頭に調査する。なお、市への要望書提出や事務の一部(監査など)を連合長寿会などで実施することも検討の余地ありと考える。

大貫	地域	男女共同参画社会推進について、大崎市でも男女共同参画推進審議会委員を委嘱しているが、取り組み状況は。	大崎市でも平成26年3月に「第2次大崎市男女共同参画推進基本計画」を策定し、諸施策への反映や女性が社会進出できる体制づくりを推進しています。また、この計画では具体的な38事業に取り組み、3つの男女共同参画プロジェクトを推進する事で、女性の地位向上やさらに社会進出ができる仕組みづくりを図っている。
大貫	地域	大崎市の非常勤職員比率はどうなっているのか。	大崎市での非常勤職員の割合は、保育所で約75%、全体で50%程であり、また議会でも、正職員と非常勤職員の統一賃金を目指すよう提言している。
松山		太陽光パネルを設置したが、大崎市から補助金が出なかった。(9月に申請)	エコ改善推進事業は7月1日から12月26日まで受け付けており、確認する。
真山		破損した掲示板に市の職員がそのままいろいろな広報を貼っていくが、いかがなものか。	修繕について速やかに対応するよう担当課に取りつぐ。
田尻	地域	田尻地域全体での振興計画として、例えば大貫地区ではグリーンツーリズム事業、沼部地区では公共圏、田尻地区では産業センター的な役割を明確にし事業推進することも必要ではないか。	地域内での理解や合意も必要だと考えている。資源に磨きをかけるためにも「未来産業創造おおさき」や「大崎ものづくりネットワーク協議会」での取り組みを進め、連携強化を図っていく。
東大崎		回覧板の新規交換配布を望む。行政からは、予算措置の問題も絡むのか、前向きの返答が得られない。回覧板は隣近所のコミュニケーション形成や高齢者には欠かせない情報伝達手段。ぜひ交換配布してほしい。なお、更新されるのであれば機能性や広告募集など工夫とアイデアがほしい。	数年前に更新したと記憶しているが、担当課の対応できない事情を調査し、実行させたい。電子情報に特化しないことが肝要と思う。
東大崎		市役所職員の電話対応で、あまりの対応に憤慨した。上司に注意をしたが、応接教育を徹底すべきだと思う。	職員指導を徹底させたい。
鹿島台	地域	5月3日に鹿島台中央野球場(サンスタジアム)にて、楽天イーグルス2軍公式戦を開催した。硬式球なのでボールが想像以上に飛び、練習時や大会時には近接する二線提バイパスの法面への飛球や、バイパスを飛び越すケース(計6球)もあり大変危険である。ぜひ早期に安全対策としての防球ネット整備をしてほしい。	公共施設整備の観点からも整備は必要だと考えている。また、利府野球場のように比較的少額で飛球防止対策を実施しているケースもある。駅から近い野球場として、野球大会誘致や交流人口増の観点から議会で対策への提言はあったが、今後所管委員会でも視察・調査を実施する。
塚目	地域	雇用促進住宅入居者から市政だよりが届かないと通報があった。また、除草、消毒など必要な環境整備についても申し入れてほしい。	市を通して確認する。環境整備については入居者が行うべきことについてもあわせて確認する。
富永		外国からの働き手を求めているようだが、治安面では大丈夫なのか。	グローバル社会において内的・外的な労力が求められている。価格競争などバランスよく地球市民として考える必要がある。人口減少は総合的政策である。多くの外国人が日本の大学で学んでいる。